

# 長崎大学文教おもやい保育園

社会福祉法人おおぞら

# 社会福祉法人おおぞら概要

- 平成18年2月 認可保育所「つばさ保育園」開所
- 平成18年10月 長崎市橘地区子育て支援センター  
「風の子らんど」開所
- 平成24年4月 学童クラブ「つめくさ」開所  
現在3クラブ運営
- 令和2年4月 児童発達支援センター「ポランのひろば」開所

## 当法人の大きな特徴

- ・同法人内に保育園と学童、児童発達支援センターがあることにより、発達がちょっと気になる子どもたちに対して、互いに連携した保育を実施することができます。



- ・ 天然芝の園庭、8.000坪の里山、ヤギの飼育畑を使って季節の野菜の栽培、広い環境の中で思い切り体を動かし、自然や動植物と存分に触れ合うことができます。



# 保 育 理 念

★子どもひとり一人の存在が大切にされている環境の中でのびのびと体を動かし、安心して自分らしくいられる空間を保障する。

★さまざまな経験ができる環境を整え、その子らしさを見つけながらお互いを励まし合い、認め合う関係を築く。

★子どもの思いに寄り添い、仲間や周りの大人と  
いろいろな経験をする中で本物に触れ、興味や関心を養う。

ことを通じて・・・

子どもを真ん中にして、関わる全ての人  
が愛情をもって接し、子どもがたくましく生きて  
いけるよう

**ひとり一人の魂に響く保育**

を目指しています。



# 保 育 目 標

1. 健全な身体づくりを目指す。

- ・すべての子どもの身体機能を把握し、活動を通して健やかな身体を作っていく。





## 2. 多様な体験を通して社会性を育てる。

- ・園全体で互いに信頼できる環境を築き、仲間作りを十分に保障する。
- ・ひとり一人の子どもが自己を発揮し、周囲の人と認め励まし合えるように育んでいく。



- 家庭との連携を密にし、基本的な生活リズムを確立する。



- 畑づくりを通して食物への関心を高め、食べることの大切さを伝える。



- ・主体性を大切にしながら、集団としての達成感を味合わせる。



- ・さまざまな体験を通して社会全体への興味、関心を高められるよう配慮する。



### 3. 豊かな創造力を育てる。

- 本物の文化芸術など、あらゆる機会に享受できる関係を作る。
- 自分の感じたことや思いを言葉や描画によって表現できる力を育てる。



- ・歌やリズムによって豊かな感性が身につくような環境を作る。



# 採用活動

- ・長崎県内の養成校を中心として、地元従事者を積極的に採用していきます。
- ・養成校出身者の県外流出抑制に貢献することで地元経済の活性化に貢献します。



# ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する取り組み

- ・勤務時間、休暇制度、子育てや介護がしやすい環境作り  
に取り組み、従事者の働きやすさを追求することで  
多様な人材の確保を目指していきます。



# ま と め

- ・つばさ保育園の自然の中で気軽に遊べます。
- ・同法人内の児童発達支援センターが利用できます。
- ・地元養成校中心に採用活動を行なっていきます。
- ・ワーク、ライフ、バランス実現に取り組んでいきます。



私たちの願い  
～こんな子どもに育ててほしい～

- 明るく素直な子ども
- よく見、よく聞き、よく考える子ども
- 愛情豊かな子ども
- 自分らしく、逞しい子ども



乳幼児期は、人間にとって人生の始まりの時期。

人生の土台を作る重要な時期です。

まさに、根っこを張り巡らせる時期なのです。

土台や根っこがしっかりしていなければ、

大きく育つことはできません。

生活のリズムを作ること、食べること、遊ぶことを大切にして  
ひとり一人の魂に響く保育を目指します。

明るく素直な子ども・よく見、よく聞き、よく考える子ども  
愛情豊かな子ども・自分らしく、逞しい子どもに育てて欲しいという  
願いが実現できるよう、職員一同子育てのパートナーとして役割を  
果たしていきます。

同時に、お父さん・お母さんと保育園とが共に協力しながら、  
子どもを育て合っていきます。

子育ては本当に楽しいものです。

この楽しさをあらためて保護者の皆様と分かち合いたい。

それが社会福祉法人おおぞらの願いです。

ご清聴ありがとうございました。  
ございました。

